

令和5年度 地域包括ケアの地区展開報告会
質問及び回答

質問1（池尻・北沢地区あて）

地域包括ケアの地区展開において、地域障害者支援センター（ぽーと）も大きな役割を担っていますが、日常的にどのような連携を行なっていますか？

回答1

池尻地区では、日常的に、あんしんすこやかセンターが随時、ケース相談など連携を取っており、定期的（隔月）に会議を開催、情報共有し、地域課題に対して資源開発や取り組みの検討を行っています。また、『三宿・池尻まちこま会』には、ぽーとせたがやも発足当初から参加しており、現在は、課題に対する検討コアメンバーの一員となっています。

さらに、地域共生社会の取り組みの一つとして、『にんにん会』（認知症や障害の有無、制度や分野ごとの縦割りや「支え手」「受け手」という関係を超えた活動）をあんしんすこやかセンターとともに行うなど、これまでに、地区の多くの社会資源と連携し、「三宿四二〇商店会」の活動やぽーとせたがや主催の『ごきんじょ市』への開催協力など行っています。

北沢地区では、四者との連携よりも、地区を支援する役割を担う北沢保健福祉センターが同じ建物にあることから、保健福祉センターとの連携が多い状況です。

質問2（北沢地区あて）

（1）大学生の地区サポーターはどのような経緯で登録したのでしょうか？

（2）「きたっこ（北沢子どもの居場所）」のキャラクターは誰が作成したのでしょうか？

回答2

（1）社会福祉協議会事務局窓口でボランティア保険の申請に来た学生に、地区サポーターへの登録を誘ったことがきっかけです。偶然、社会福祉専攻の学生だったため、友人にも声をかけてもらい、活動参加につながりました。

（2）きたっこの職員が描いたイラストです。